



いきいき

小富士っ子



R5学校便り No18

令和5.12.25

四国中央市立
小富士小学校

2学期を振り返って

引き続き感染症対策をしながらではありましたが、2学期には行事や体験活動ができました。2学期は行事や体験活動を通して子どもたちがどんどん成長する学期になりました。保護者や地域の皆さんにも、学校や子どもたちをいっぱい支えていただきました。本当にありがとうございました。また、ICTを活用するなどして、充実した授業を心掛けました。児童は意欲的に学習に取り組み、学力向上の成果も見られました。今後も「分かる」「できる」「楽しい」授業を行い、児童に力を付けたいと思います。引き続きご理解ご協力をよろしくお願いします。

冬休みが児童にとって安全安心で楽しい、そして有意義で充実したものになるよう見守り、見届けてください。良いお年をお迎えください。



今日はクリスマス



「クリスマスイブ」、昔、何かの映画のワンシーンで聞いたことがある。12月23日がクリスマスイブなのだそうである。その日が天皇誕生日じゃなくなったころからか、身近なところでもしばしばイブと耳にするようになってきた。クリスマス前夜がクリスマスイブで、その前の日だからイブ。(何でもない日を記念日など何かの日にしてしまうのは、日本人の得意技か。)しかし、実はクリスマス

イブのイブはeve(前夜祭)ではなく、evening(晩)の略である。つまり、クリスマスイブは、クリスマス前夜ではなくクリスマス当夜になる。そうであれば、なぜ24日をクリスマスイブと言っているのか。一般的には、朝に1日が始まる。しかし、本当の1日の始まりは深夜0時である。キリスト教会暦では日没を境に次の日になるため、24日の日没後は25日であり、クリスマス当日の1日が始まっているという訳である。キリスト教を信じている人の中には、今でもクリスマスイブをクリスマス当日の夜として祝って(祈りを捧げる)いる人がいる。(ちなみにクリスマスはキリストの生誕日ではなく、キリストの生誕を祝う日である。)日本の祀りは、本来神事であるが、祭り(フェスティバル)として楽しんでいる人が多い。時代と共に変わっていくことや、一般化する過程で広く受け入れられる形になること、それも良い。ただ、本来の姿や意味も知っておきたい。また、信じていることが違っていても理解し合うことも大切にしたいと思う。パレスチナの戦争が終わらない。きっかけは、ユダヤ人とパレスチナ人の対立で、本を正せば聖地(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)エルサレムの取り合いである。宗教の違いを超えて共存できないものか。日本も他国との間に様々な問題を有しているが、日本は戦争をしない。それは、日本人が問題を平和的に解決することを学んできたからである。クリスマスの日にクリスマスを楽しむことができる**平和**に感謝しながら、皆さんへ、そして世界へ平和の大切さや、戦争反対の思いを届けたい。

ホームページもご覧ください。 <https://kofuji-e.esnet.ed.jp/>